



# ともしび

令和5年11月27日  
世田谷区立三宿中学校  
夜間学級だより11月号  
校長 濱川 一彦



「ともしび」について  
家路を急ぐ人や車がせわしくなく行  
きかう夜空の下、三宿中学校の  
校舎に煌々とともるあかり。それは、  
闇を照らす学び舎のともしび。  
そして、ここで学ぶ生徒一人ひとり  
の心にもたくさんのともしびが  
……。学ぶ場を得た喜びの中で燃や  
す学習への強い意欲、将来への  
夢、そして希望……。

## 行事の功罪

夜間学級 副校長 市原 一

4月から行事の大切さを皆さんに伝えてきました。皆さんは移動教室、文化学習発表会、連合体育大会、連合バレーボール大会など多くの行事を体験しました。そのなかで班や係といったグループに分かれて仕事をしたのを覚えていますか。グループで仕事を進めるにはリーダーが必要です。しかし、リーダーになった生徒から行事の準備が進むにつれて以下のような相談を受けるようになります。「××さんが、協力してくれない。△△さんが頑張っている自分の悪口を言っている、…」など。

こんなとき私はこう答えます。「大人の世界でも同じようなことがあります。どの職業でも…。〇〇さんは正しいことをしているので自信をもちなさい」と。ここに面白いデータがあります。働きアリのうち、積極的に仕事をこなす個体は全体の20%程度しかいません。残りの60%は普通に働く個体、20%はほとんど働かない個体で構成されています。これは特定の種やコロニーに限定された現象ではなく、ミツバチなども含め多くの社会性昆虫のコロニーでよく見られます。これになぞらえ、組織の人間を「よく働く」「普通に働く」「働かない」に分けたとき、その割合は2:6:2になり、あなたは全体の20%の仕事を積極的にこなしている人間になります。

また、次のようなデータもあります。あなたの行動に対して、10%は何をやっても悪く言う、20%は無言で好意的に見ている、70%は傍観者です。あなたには20%の無言で応援してくれている仲間もいるのです。

悔しくありませんか？あなたが悩んでいるこの瞬間、文句を言っている相手はすやすや眠っているのです。中高生の時期は他人に自分がどう思われているのか特に気になるようです。私は「もともと人間は育ちが違っているので、考え方が違っていても当たり前で、自分は担当した仕事を

成功させるために頑張っている」と前向きに考えるようにします。自分の考えを相手に伝えるコミュニケーション能力もある程度必要ですが、それが通じない人間もある一定数いるのも事実です。

気持ちに余裕をもちましょう。その程度のことで引いてはいけません。長い人生、生きていくためにはストレスの回避の仕方を各自身に付けることも大切です。

## 【連合体育大会】

10月7日に本校を会場に都内夜間学級中学校8校が集まり、連合体育大会が行われました。生徒の作文を紹介します。

楽しかった連合体育大会 4組

今年の運動会は、10月7日12時から16時までやりました。私は、綱引きや台風の日などいろいろな競技に出ました。一番楽しかったのは、綱引きです。次に楽しかったのは、台風の日です。私の友達もよく頑張りました。

12時になると応援席に自分の荷物を置きました。そして、軽食のおにぎりを食べました。12時30分になると自分のスマートフォンとお財布を担任の先生に渡しました。12時40分からは、私の学校の生徒と他の学校の生徒と一緒に開会式のリハーサルをやりました。13時から、皆さんと一緒に開会式をやりました。そのあと競技がスタートしました。協議が全部終わり、15時15分に閉会式をやりました。そのあと15時40分から会場の片付けをしました。皆さんと一緒にいろいろな競技に挑戦できました。今はとても気持ちが良いです。

担当の日向先生から一言いただきました。

連合体育大会当日は、天気にも恵まれ、皆さんがたくさん練習してきたことが成果として出ていました。どの競技もとても感動するベストパフォーマンスでした。

